

トップページ	Home > 申請書類 > 令和8年度（第48回）研究助成 応募要領
財団概要	令和8年度（第48回）研究助成 応募要領
財団の助成内容 ・研究助成 ・国際会議助成 ・成果普及助成	令和7年（2025年）8月1日
助成研究の紹介	1. 助成の対象
研究助成実績	主として、無機の固体材料並びに関連材料の科学と技術の研究。 例えば、ガラス・セラミックス等のバルク・薄膜あるいはナノレベルのハイブリッド構造で、フォトンクス、エレクトロニクス、医用、環境、省エネルギー、各種構造材等に用いる材料（複合材料を含む）に関する基礎研究および応用研究。（注：純粋な金属は含みません。）
情報公開	2. 助成金額（件数）
ご寄附のお願い	総額 5000万円程度（40件程度、1件140万円以下） 助成対象となる費用は、研究に直接必要な経費であり、研究者本人及び共同研究者の人件費、研究者が所属する組織の間接経費・管理経費・共通経費、汎用性のある事務機器は対象外です。 上記助成件数のうち、独創性に富む萌芽的な研究は「継続助成」として選考することがあります。 継続候補（1～2件）に選ばれた場合は、1年後、評価の上、令和9年度（2027年度）も1件140万円以下の助成金を贈呈します。
申請書類	3. 応募手続
過去の研究助成金贈呈式：特別講演題目	★ 以下①～④が揃いましたらkenji.uchiyama@nsg-zaidan.or.jp宛にその旨をお知らせください。応募ファイルのアップロード専用URLをお送りします。そのURLにアクセスして①～④をアップロードお願いします。その他の方法での応募は受け付けません。
過去の学術講演会（研究成果発表会）	① 申請書Wordファイル
お問い合わせ	② 所属機関長の推薦捺印申請書表紙pdf（電子印可）
アクセス	③ 過去に発表した論文5件以内pdf（全文2件＋先頭ページのみ3件以内）
	④ 申請者情報Excelファイル
	申請書Wordファイルと申請者情報Excelファイルは、http://www.nsg-zaidan.or.jpからダウンロードできます。
	★ 常勤の研究者に限ります（営利企業に所属されている方は対象外となります）。
	★ 大学院学生は応募できません。
	★ 令和5年度以降に弊財団の助成を受けられた方は、今回の応募資格はありません。
	＜応募締切：令和7年（2025年）11月18日（弊財団必着）＞
	4. 選考方法
	推薦を受けた応募研究は、弊財団が委嘱する選考委員会において選考します。 なお、応募テーマが他の助成金と重複した場合は、お断りすることがあります。
	（選考委員会メンバー）

委員長	後藤 孝	東北大学名誉教授、長岡技術科学大学特任教授
委員	細野 秀雄	東京科学大学名誉教授・特命教授、物質・材料研究機構特別フェロー
委員	藤田 静雄	京都大学名誉教授
委員	水本 哲弥	日本学術振興会理事
委員	井上 博之	東京大学名誉教授
委員	矢野 哲司	東京科学大学教授
委員	鳥本 司	名古屋大学教授
委員	田中 勝久	京都大学教授

5. 研究助成金の贈呈

令和8年（2026年）4月 東京にて贈呈式を行います。

6. 助成による成果の報告及び発表について

- 1) 助成期間は3年間です。研究助成終了の2029年3月末までに研究成果報告を提出して頂き、弊財団の研究成果報告書に収録するとともに一般に公開します。なお、報告書の著作権は財団に属しますが、成果についての知的財産権等については財団は関与致しません。
- 2) 研究成果を学会に発表される場合は、弊財団から助成を受けたことを付記して頂くとともに、その別刷り又は資料写しを弊財団宛にご送付願います。
- 3) 成果普及事業として、収録した「研究成果報告」の一部について、2030年1月開催の「研究成果発表会」で、講演等をお願いする場合があります。

7. その他

- 1) 応募された個人情報については個人情報保護法を遵守します。なお、助成者の氏名・所属・職位・研究テーマ名は原則公開とします。

8. 申請書送付先及び連絡・問合せ先

〒664-8520 兵庫県伊丹市鴻池2丁目13番12号 日本板硝子技術研究所内
(公財)日本板硝子材料工学助成会 事務局長 内山堅慈
Tel：072-767-1701
e-mail:kenji.uchiyama@nsg-zaidan.or.jp <http://www.nsg-zaidan.or.jp/>

 [ページの先頭へ戻る](#)